



学校だより

学校教育目標

12月号(第552号)

令和3年11月30日

横浜市立すみれが丘小学校

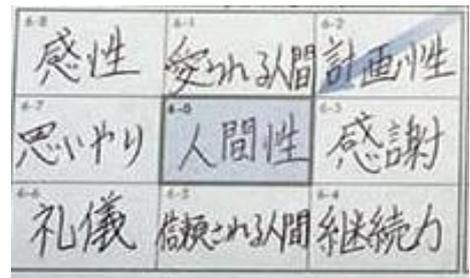
〈すすんで みんなで れいをつくして がんばりつづけて おもいあって かがやきつづけるすみれっ子〉
～豊かな人間関係の中で、一人ひとりが自分のよさを十分に発揮し、互いに高め合う子を育てます～

大谷選手の活躍に思う

校長 栗原 信一

早いもので2021年、今年も最後の一枚となりました。今年も教育活動もコロナ禍により様々な制限を受けましたが、いつも判断の柱としていたのは、児童の安心と安全です。児童の健全育成に向け、大切な指標としてきました。お陰様で新型コロナ対策に追われながらも、まもなく2021年を無事に終わらせることをうれしく思います。このところ新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、学校生活もおちつきを取り戻してきました。本校の教育活動は、横浜市のガイドラインに沿って行われていますが、感染症予防を前提に再開された活動も増えてきました。音楽でのリコーダー奏、鍵盤ハーモニカ奏、バス乗車で行く校外学習、休み時間のドッジボール、対面での読み聞かせ活動、家庭科の実習をはじめ、図書館における保護者や地域の皆様のボランティアの再開等です。地域、保護者の皆様にも、多大なるご理解とご協力をいただきましたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

さて、12月は一年を振り返る時です。この一年、コロナ禍により暗いニュースが多かった中で、アメリカ大リーグ、大谷翔平選手の二刀流の活躍、そして最も名誉な MVP 獲得は、私たち日本人に勇気と希望を与えてくれました。先日、大谷選手を紹介するテレビ番組を視聴しました。この番組では、大谷選手の野球の技能の高さに裏打ちされた「人間性」に迫る内容でした。その中で、大谷選手が高校時代に書いた「目標設定シート(マンダラチャート)」が紹介されていました。目標を達成するには、どんな自分にならなくてはならないのか自問自答の中で設定したものだそうです。多くの目標設定の中の一つに「人間性」というキーワードがありました。目指す自分の姿を真ん中に書き、それを達成するための努力目標を周りに書くものだそうです。大谷選手が「人間性」を高めるために大切にしたいことが8項目書かれました。大谷選手はいつも目に見える形で目標を捉えると共に、自問自答することで自分自身を磨いていったことと思います。



▲大谷選手の目標設定シート

これを見ると、前向きに、自分を大切に、相手を思いやり、そして感謝の気持ちをもつ中で今の大谷選手の「人間性」が培われたことが分かります。そんな大谷選手の姿に励まされると共にますます応援したくなりました。本校でも「すみれが丘小学校の子どもたちの幸せ」を「目標設定シート」の真ん中に、まもなく訪れる2022年の努力目標を考えていきたいと思っています。



12月は、世界人権デーに合わせて人権週間を計画しています。12月の生活目標、「相手の気持ちを考えて行動しよう」を意識しながら、子どもたちの「人権意識」、「人間性」を高めるための取組をしていきたいと思っています。